

問1 明治政府が中央集権化を進めるため、全国の藩主に命じて土地と人民を天皇へ返還させた制度を何という？

1. 版籍奉還 2. 廃藩置県 3. 大政奉還 4. 四民平等

問2 大政奉還の直後、天皇を中心とする新政府の樹立を宣言した命令を何という？

1. 大政奉還 2. 五箇条の御誓文 3. 廃藩置県 4. 王政復古の大号令

問3 明治政府において、初代の内務大臣にあたる官職に就き、殖産興業を推進した役職を何という？

1. 太政大臣 2. 内務卿 3. 参議 4. 右大臣

問4 明治新政府が旧幕府軍との戦いに勝利し、全国を統一した一連の内戦を何という？

1. 日清戦争 2. 西南戦争 3. 戊辰戦争 4. 日露戦争

問5 藩を廃止して県を置き、中央から知事を派遣することで地方支配を強化した明治政府の政策を何という？

1. 廃藩置県 2. 版籍奉還 3. 徴兵令 4. 地租改正

問6 県令とともに地方を直接統治する役割を担った、府を統治する役職を何という？

1. 参議 2. 府知事 3. 公卿 4. 太政大臣

問7 地租改正などの重い税負担に苦しむ農民が、明治政府に対して起こした抵抗運動を何という？

1. 革命 2. 政変 3. 一揆 4. 内乱

問8 1868年に五箇条の御誓文を神に誓う形式で発表した当時の天皇は誰？

1. 松平容保 2. 孝明天皇 3. 徳川慶喜 4. 明治天皇

問9 近代的な工場や産業の現場で、専門的な技能を用いて生産や開発を指導した人を何という？

1. 技術者 2. 教育者 3. 軍事顧問 4. 宣教師

問10 1867年、江戸幕府第15代将軍として政権を朝廷に返上した人物は誰？

1. 徳川家慶 2. 徳川家茂 3. 徳川慶喜 4. 徳川家定

問11 「天は人の上に人を造らず」という一節で始まる、福沢諭吉が執筆した啓蒙書を何という？

1. 福翁自伝 2. 学問のすゝめ 3. 西洋事情 4. 明六雑誌

問12 1871年、明治政府が近代制度を学ぶために欧米へ派遣した使節団を何という？

1. 天正遣欧使節 2. 遣唐使 3. 遣明船 4. 岩倉使節団

問13 明治政府が、欧米列強の植民地化を防ぎ、独立を維持するために掲げた国家政策を何という？

1. 富国強兵 2. 廃藩置県 3. 殖産興業 4. 文明開化

問14 明治初期、全権大使として欧米へ渡り、帰国後は国内の近代化を優先する政策を進めた人物は誰？

1. 木戸孝允 2. 伊藤博文 3. 西郷隆盛 4. 岩倉具視

問15 1871年からの身分制度の廃止により、かつての武士・農民・職人・商人の区別がなくなったことを何という？

1. 地租改正 2. 廃藩置県 3. 四民平等 4. 学制発布

問16 欧米諸国に並ぶ国力を養うために明治政府が掲げた、国力を高める政策の合言葉を何という？

1. 廃藩置県 2. 富国強兵 3. 文明開化 4. 殖産興業

答え合わせ・解説

問1	答え 1 版籍奉還	明治政府は中央集権体制を確立するため、1869年に藩主から土地（版）と人民（籍）を天皇に返還させました。これにより、名目上は全ての土地と人民が天皇のものとなりました。旧藩主は政府から知事に任命されましたが、実権は次第に中央へと移行していきます。
問2	答え 4 王政復古の大号令	1867年12月、薩長などの倒幕派が天皇の権威を背景に発したのが「王政復古の大号令」です。これにより、將軍職の廃止と天皇中心の新政府の樹立が宣言され、徳川家による支配が完全に終わりました。
問3	答え 2 内務卿	1873年に設置された内務省の長官を内務卿と呼びます。初代の内務卿には大久保利通が就任し、殖産興業政策を強力に推進しました。このポストは後の内閣制度における内務大臣へと引き継がれました。
問4	答え 3 戊辰戦争	1868年の鳥羽・伏見の戦いから始まり、東北地方、最後は北海道の箱館まで続いた内戦を指します。近代的な軍制を整えた新政府軍が、旧幕府の残存勢力を次々と制圧しました。この戦いを通じて、日本は武家による封建制から、天皇を頂点とする近代的な統一国家へと大きく舵を切ることになりました。
問5	答え 1 廃藩置県	明治政府は1871年に廃藩置県を断行しました。全国の藩を廃止して府や県に改め、中央から政府が選んだ官吏である知事を派遣することで、国家による直接統治を実現しました。
問6	答え 2 府知事	明治政府は東京・京都・大阪などの主要な都市を「府」とし、そこを治める長官として府知事を任命しました。また、その他の地方は「県」とされ、同様の役割を持つ県令が派遣されました。これらは中央政府の命令を地方に伝える行政の末端機関としての機能を持ちました。
問7	答え 3 一揆	この重い負担に抗議して、全国各地で大規模な一揆が起こりました。政府は、これら社会的な動揺を抑えるために、1877年に地租の税率を3%から2.5%に引き下げる措置をとりました。
問8	答え 4 明治天皇	明治天皇は、江戸時代から明治時代への転換期において、新しい近代国家の象徴として位置づけられました。1868年、新政府が掲げた「五箇条の御誓文」を神前で読み上げ、全国に新しい国づくりの方針を広く示しました。
問9	答え 1 技術者	彼ら技術者は、官営模範工場などで日本の作業員に最新の機械操作や設計技術を教えました。理論だけでなく、実地での教育を行うことで、日本における工業化の基礎を築く役割を果たしました。
問10	答え 3 徳川慶喜	徳川慶喜は、政権を朝廷に返上することで徳川家を中心とした新たな政治体制を築こうと画策し、1867年に大政奉還を断行しました。これにより約260年続いた江戸幕府は終焉を迎えました。
問11	答え 2 学問のすゝめ	『学問のすゝめ』は、福沢諭吉が人々に平等と学問の重要性を説くために著した書物です。「天は人の上に人を造らず」という言葉で有名で、人間は生まれながらに平等であり、自らの知性を磨くことで独立した個人となるべきだと説きました。
問12	答え 4 岩倉使節団	1871年、岩倉具視を全権大使とし、大久保利通や伊藤博文らが参加しました。一行はアメリカを経てヨーロッパ各国を回り、工場や議会、教育制度などを視察しました。日本が近代化するために必要な多くの知識を持ち帰りました。
問13	答え 1 富国強兵	富国強兵は、近代的な産業を育てて税収を増やし、強力な軍隊を持つという政策です。この方針に基づき、地租改正による財源確保や、官営模範工場の設立、徴兵制の実施などが強力に推進されました。
問14	答え 4 岩倉具視	1871年に岩倉具視を全権大使とする使節団が派遣されました。帰国後の岩倉は、海外渡航で痛感した日本の遅れを挽回するため、性急な対外拡大を控え、国内の近代化と富国強兵を優先する方針を確立しました。
問15	答え 3 四民平等	「四民平等」は、かつて区別されていた士農工商の身分をなくし、すべての国民を法的に平等に扱う考え方です。これに伴い、平民の姓を持つことや、居住や職業の自由が認められるようになりました。
問16	答え 2 富国強兵	明治政府は「富国強兵」を国家の基本政策に掲げました。経済面では殖産興業を進めて資本主義の土台を作り、軍事面では徴兵令などを通じて近代的な軍隊を創設しました。